練習54　次の文章を読んで、後の問いに対する答えとして最もよいものを一つ選びなさい。

間接的にでも政治的な活動をしている若者が増えているという。彼らはどんな動機で政治活動を始めたのだろうか。たずねてみると、「ほかの人と関わりを持ちたいから」という答えがよく返ってくる。人との関わりを求めて政治活動をするのか、と一瞬驚いたが、考えてみれば驚くことではなさそうだ。地域共同体の力が強かった時代は、地域の人との関わりを強制される面があり、自分から人と関わりを持とうとすることはあまりなかった。しかし、①今は違う。

また、「趣味やボランティア活動の延長で、政治に出会った」という話も聞く。日常の仕事から離れてサークル活動やボランティア活動をする中で政治に出会い、自然な流れで②その活動に入っていったというケースだ。

以上は、仕事以外の生きがいを求めて政治に目を向けた例といえるだろう。

一方、「就職先として政治の場を選んだ」というケースもある。政治家の公的な秘書、その秘書が雇う人、事務所の職員など、その周囲にはかなりの職がある。政治家の任期が終わり、次の選挙に落ちれば職を失うことになるが、任期中は安定している。特に参議院の議員の任期は６年だから、その秘書も６年は仕事があるわけで、一般的なアルバイトなどと比べればはるかによい。こうした選択は、長期的な就職先を見つけることが困難な時代を反映しているといえるだろう。

問１　①今は違うとはどういうことか。

1　以前は若者の答えを聞いて驚いたが、今ではその理由がわかっているので驚かない。
2　今は他人との関わりが強制されないので、自分から関わりを求めるようになった。
3　以前は地域の人と関わらなくてもよかったが、今は関わる必要がある。
4　今はほかの人と関わる必要がないので、政治的な活動がしやすくなった。

問２　②その活動に入っていったとはどういうことか。

1　政治的な活動を始めた。
2　政治家として活動することに決めた。
3　政治家としてボランティア活動を始めた。
4　ボランティア活動が好きになっていった。

問３　この文章の内容として最も適切なものはどれか。

1　若者の政治的な活動は、単なる趣味の延長に過ぎないと考えることができる。
2　ボランティア活動に人との関わりを求めるなら、政治活動で自己実現したほうがいい。
3　政治に関わる職は安定しているから、若者はもっと政治活動に目を向けるべきだ。
4　若者が政治活動に入るのは、生きがいや就職先を求めているからである。

LIVEWORKSHEETS